

2014 1月

OIT Website  
<http://www.oit.ac.jp>

およど

ひとことメッセージ

こんなことができたらいいな!が原点。ひらめきからアイデアを生みだし、それを実現するのが技術者の楽しさです。そのための専門基礎力、応用力、創造力を身につけよう。



情報科学部 情報ネットワーク学科 教授  
 塚本 勝俊 (専攻: 通信工学)

**初** 十津川村へのボランティア

CONTENTS

学長再選メッセージ  
 弁理士試験に合格

「JoiTech」が「ベストチーム・オブ・ザ・イヤー2013」受賞!

学園祭報告

十津川村ボランティア活動

ウインドアンサンブル初の快挙

学長表彰

工学部長表彰、知的財産研究科長表彰・学部長表彰

OIT-NEWS

食育フェアが開催されました!



## 学長の再任にあたり、学生の皆さんへ

このたび大阪工業大学学長に引き続き就任いたしました。今後も、学生諸君の目線で諸課題に取り組む所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

変化する社会は、理工系分野で活躍できる専門人材を求めています。本学は開学以来、一貫して社会の要請に応える工学、情報そして知財の専門人材を輩出し、あらゆる分野で卒業生が活躍しています。その歴史の積み重ねは、社会から厚い信頼をいただき、それが高い就職実績にも繋がっています。学生の皆さん、このような歴史と伝統を持つ大阪工業大学で学んでいることに、誇りと自信を持って、これからも学業に専念してください。

変化の激しい知識社会にあっては、常識にとらわれるこ

となく、臨機応変に対応し、新しいモノを生み出すイノベーションに貢献できる専門人材が求められます。本学では今年度、海外留学支援制度を新たに導入しました。現在、大学院進学予定者と大学院生が、大学・学園の支援により欧米やアジア圏の海外研究機関に留学しています。異なる文化に接し、世界の風を敏感に感じ、社会をリードする専門性を養成するため大学院進学を目指してください。大学院での研究生生活を通して、広く学会活動や国際交流を経験し、たくましい人間力を養うことができます。若いときの数々の研鑽は、必ず輝かしい人生を送る上で礎となるものです。多くの学生諸君の大学院進学を切に願っています。



学長 井上 正崇

## 留学生が地元小学校の児童たちと交流

本学の外国人留学生が組織する課外活動団体の留学生友好会が、10月24日に地元旭区の大阪市立大宮西小学校の1年生、5年生の児童たちと毎年恒例の交流行事を実施しました。

今回は、中国・サウジアラビア・インドネシア・モンゴル出身の6人の留学生が参加し、最初は1年生の児童たちに出迎えられ、留学生からの自己紹介のあと、早速、「じゃんけん大会」がはじまりました。緊張気味だった児童たちの表情も次第にほぐれて、その後は6グループに分かれて母国のいろいろな話を子供たちに聞かせていました。

休憩時間をはさみ、今度は5年生の児童たちと留学生6グループに分かれて、母国での食事や生活スタイルなどについて、児童からのさまざまな質問に答えました。サウジアラビア留学生のキーム君[アルジュハニ アブドゥルカリム ジャミール(E3)]は母国の紙幣を手にアラビア語や母国の王様の話をしていました。子供たちは興味津々に話を聞くとともに熱心にノートを取っていました。留学生たちも無邪気な笑顔に癒されたようで、彼らにとっても日本の子供たちと交流する良い機会となりました。



児童たちと交流する留学生



## 平成25年度弁理士試験に4人合格!

～弁理士試験合格体験報告会が実施されました～

11月7日に行われた弁理士試験の最終合格発表において、今年3月に本学知的財産研究科を修了した謝 博超さんを含む4人(昨年は5人)が見事合格しました。

氏名が判明している合格者は、謝 博超さん、園田 智博さん、高岡 健さんの3人です。弁理士試験合格者の平均年齢は38.9歳ですが、3人とも20歳台での合格という快挙で、特に謝さんは本学の歴代合格者のうち最年少(23歳)合格です。また、謝さんと園田さんは、知的財産学部からの最初の合格者となります。

弁理士試験は、筆記試験(短答式・論文式)および口述試験で行い、短答試験に合格しないと論文試験を受験できず、論文試験に合格しないと口述試験を受験できません。弁理士試験は最難関資格国家試験のひとつで、今年は受験者6,780人に対し、最終合格者は715人(合格率10.5%)で、合格後は実務修習を経て晴れて弁理士になります。

弁理士試験合格の朗報を受け、12月7日に大学院セミナー室(1号館9階)で3人の合格者(3人とも弁理士受験会出身&専門職大学院

修了)から弁理士を目指す弁理士受験会のメンバーに対して、体験報告会が開催されました。3者3様の体験談に弁理士受験会のメンバーから次々と質問が飛び出し、あっという間に報告会の時間が過ぎ、最後に弁理士受験会顧問の川原先生から「合格者のみなさんは弁理士試験の科目免除が得られる専門職大学院を上手に活用されました。弁理士を志望する方々には大学院進学をお勧めします。」とのエールがあり、報告会が締めくくられました。目標を目指して努力を続けるゆるぎない意気力や前進を続ける姿から学べることは多く、とてもいい刺激を受けたのではないのでしょうか。後に続く大工大生の活躍に期待しています。



合格を果たした3人の先輩たち

### ■現在の仕事は?

今年の4月から特許事務所に就職し、商標の調査、出願、事務手続きを先輩に教えてもらいながらこなしています。海外の代理人とのやりとりも多く、英語は必須です。



謝 博超さん

(2011年知的財産学部卒業、2013年専門職大学院修了)

### ■将来の夢は?

弁理士試験に合格することは、知財業界で活躍するためのスタート地点に立ったにすぎないと思っています。経験が必要な仕事なのでしっかり実務経験を積んで、将来的には知財業界の第一線に立って商標に関する訴訟や審判などの仕事に関わりたいです。また、高校時代にイギリスに留学した経験があり、言葉に興味があるので国際的な舞台で活躍したいです。

### ■大工大生へメッセージ

- \*モチベーションの維持が大切
- \*途中経過の目標ではなく、短期間で達成する最終目標をもつ
- \*仲間と切磋琢磨しながらの勉強は非常に刺激を受ける
- \*勉強と遊びのメリハリをつける

### ■弁理士を目指したのはいつから?

特許事務所への就職をめざして就職活動を始めましたが、弁理士資格の重要性に気づき、就職活動をやめて本格的に勉強を始めたのは大学院2年次からです。弁理士試験は難関と言われますが、努力すれば必ず受かると信じています。



園田 智博さん

(2009年知的財産学部卒業、2011年専門職大学院修了)

### ■論文試験について

インプットとアウトプットのバランスが大事です。書き方のルールを覚えるだけでは実力はつかないと考え、実際に書いた論文を予備校で採点してもらい、身につけていきました。

### ■大工大生へメッセージ

- \*同じ目標をもって切磋琢磨しあえる仲間を大切に
- \*継続は力なり
- \*勉強できる環境に感謝

### ■大学院入学のきっかけは?

理工系大学を卒業し、技術職として働いていましたが、以前から興味があった知的財産の専門職大学院が自宅近くの大工大にでき、入学を決意しました。



高岡 健さん

(2010年専門職大学院修了)

### ■短答試験について

短答試験の勉強は、弁理士受験会で川原先生が指導してくださった学習方法と内容を繰り返し行い、合格することができました。

### ■大工大生へメッセージ

- \*自分を信じる
- \*絶対に諦めない
- \*勉強できる環境を作ってくれた家族等に感謝する気持ちを大切に





## ロボカップ世界大会優勝「JoiTech」が「ベストチーム・オブ・ザ・イヤー2013」受賞!

「ロボカップ2013世界大会」のヒューマノイドリーグで優勝した大阪大学と本学の合同チーム「JoiTech」が「ベストチーム・オブ・ザ・イヤー2013」の一般部門を受賞しました。これは、その年に最もチームワークを発揮し、話題になった商品やサービス、出来事を生み出したチームを表彰するアワード(賞)です。

チーム「JoiTech」は、今年6月、オランダ・アイントホーフェンにて開催されたロボカップ2013世界大会にてドリブル&キック部門「優勝」、技術を競うテクニカルチャレンジ部門「準優勝」、特にヒト型ロボット部門の中から最も優れたロボットに贈られる「ベストヒューマノイド賞」を獲得するなど並び居る強豪を押しつけて世界一となりました。

本学からはハードウェアの担当として柴田和

諒君(M4)と鈴木智也君(M4)が参加。元々、柴田君はロボットプロジェクトのサブリーダーとして、鈴木君は文化会機械工学研究部部長として活躍しており、ハードウェア構築レベルが高く、E科田熊隆史先生の推薦もあり参加しました。柴田君は「立つだけでも難しい1m50cmのヒト型ロボットを整備するのは大変な作業で、試合毎に400本ものネジを締めなおし動作確認していました。週1回のミーティングで細かな作業工程を報告するなどチーム内の情報共有を着実に進めていきました。メンバーのそれぞれが担当部分を突き詰めて任せあえる信頼関係ができていたことがチームの評価につながったのだと思います。」とチーム力の秘訣を教えてくださいました。

今回の受賞は2020年度東京オリンピック・

パラリンピック招致チームやガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の「パズル&ドラゴンズ」プロジェクトチーム等と並び賞されるという快挙です。今後も工大生の活躍を大いに期待します。



鈴木智也君(前列左)と柴田和諒君(前列右)



チーム・オブ・ザ・イヤー2013受賞の様子

## 青山繁晴氏の熱弁に400人の聴衆が感動

総理大臣の安倍晋三さんともテレビ討論するなど、舌鋒鋭い論調で有名な青山繁晴さん(独立総合研究所社長)が12月2日、大宮西学舎のOITホールで、本学学生、学園OB、教職員らを対象に講演を行いました。学園卒業生で構成されている「城北倶楽部」が主催し、約400人が「日本の出番、祖国は甦る」と題した同氏の講演に耳を傾けました。

青山氏は講演のなかで、「日本人として主役はそれぞれの皆さんであり、日本人としての心を大切にしながら、出来ることからしていくべき

だ」と切り出し、太平洋戦争や東日本大震災、原発事故現場での日本人の驚くべき活躍を紹介した。さらに「日本は決して資源小国ではなく、メタンハイドレートという自前の資源が日本海側に有望な形で存在している」と力説。ときおり、会場の学生に直接質問しながら、熱く日本の進むべき道を語りました。

あまりの盛り上がり、講演は予定の1時間20分を大幅に超過し、2時間以上にもおよぶものの、参加者からは、「大きな自信と明るい展望を感じることができた」との感想がありました。



熱心に青山氏の講演を聴く参加者たち

## 「ガラス・アート・リポーン」講座を開催

本学工学部環境工学科と空間デザイン学科は、「廃ガラスを使い新たな価値創造へ」をメインテーマに、2学科のコラボレーション講座として「ガラス・アート・リポーン」講座を開催しました。この講座は、使用済みのワイン瓶などをリサイクル技術を使ってアートとして甦らせようというもので、うめきたナレッジセンターでの講義と大宮キャンパスでの作品作りが交互に全6回行われました。

11月26日の第4回講義では、ガラス粒を使ってアート作品を制作、色とりどりのガラス

屑でサンドアート作りに没頭する参加者の姿が見られました。12月11日の第5回講義では、本学空間デザイン学科の細野幸敏特任教授が、「廃ガラスの再生による空間デザイン」をテーマに、スタンドグラス、アクセサリーや手作りギフトなど、廃ガラスを活用した作品を生活空間の中にどう取り入れ楽しむかという話をされました。

廃ガラスを単なるゴミ問題と捉えるのではなく、環境問題として広く関心を持ち、どのように新しい価値を見出し社会に還元していくか

を考えた、充実の講座でした。



廃ガラスから蘇った美しいガラス屑で作るサンドアート

## オーグス総研コンテストで本学チームが準優勝しました!

11月14日、情報科学部情報メディア学科感覚メディア研究室の学生チームが株式会社オーグス総研主催「3人じゃないと使えないソフトウェアコンテスト」の本選に出場し、準優勝に輝きました。

本選では、2回の書類審査を通過した6チームが参加し、各作品のプレゼン発表と審査員との質疑応答を行いました。

審査では、「独創性」「技術的な工夫」「実現可能性」「有用性(ビジネス/社会)」「面白さ」が総合的に評価されます。

本学の「チーム逆三角形Y feat.その他」は、作品名「RGBオセロ」を制作し、大会に挑みま

した。

このソフトウェアは、光の三原色である赤緑青の三色にわかれて対戦する、という点が特長です。三原色を使うことにより、子どもには遊びながらの色の勉強、大人には3人での駆け引きや読みあいを狙ったゲームにしました。

制作に携わった情報科学部情報メディア学科3年次生の竹上優希君、平野絵理さん、服部正寛君、吉田匠汰君の4人は「3という数字にとにかくこだわりました。RGBオセロは盤の形、石の形などすべて三角形にしています。プログラムの作成過程では何十回とテストを行い苦労しましたが、全員で力を合わせ完成させ

ることができました。途中、先生方にもアドバイスをいただき、大変感謝しています。コンテストで得たことを今後を生かしていきたいです。」と語ってくれました。



準優勝した「チーム逆三角形Y feat.その他」のメンバー

# 城北祭

大宮  
キャンパス

## SHIROKITA FESTIVAL

10.25(金) 26(土) 27(日)

今年度の第65回城北祭では、12,000人という来場者数となりました。ご来場いただきました皆さま方、本当にありがとうございました。



さて、今年は「カラフル～多彩～」というテーマの下、1年間企画・運営を行ってきました。このテーマには、城北祭は、参加していただいた来場者の方々、他団体、その他多くの皆さまの協力があったからこそ成り立ち、様々な人々(色)が団体や年齢の垣根を越え、ひとつになることによって楽しんでもらいたいという意味が込められております。期間中には大人から子供までたくさんの人が集まり、城北祭を完成することができました。無事に開催できたのも、ご指導いただいた教職員の方々、他団体、各クラブの皆さま、なにより城北祭実行委員会のメンバー、その他多くの皆さまのおかげです。ありがとうございました。

来年度は、さらに盛大な城北祭になるよう努力していきますので、来年度の城北祭もよろしくお願いたします。

第65代城北祭実行委員会 委員長 桑島惇一 (V3)



### 城北祭2013写真集

ステージイベントから閉祭式まで、さまざまなイベントが行われました。

演武祭での渾身の演武

毎年新メニューが誕生し活気みなぎる模擬店

行列必至の無料ポップコーン配布♪

歓声沸きあがる空手の演武

昨年よりグレードアップした相撲大会

大技連発!体操部のユニークなアクロバットショー

学園祭の風物詩「KAMI扇子」

工夫を凝らした教室展示

妖艶なダンスで観客の視線を釘付け

子供に大人気の鉄道研究部発表

他大学も参加のロボットバトル

爆笑のよしもとステージ

アーティストの癒し声にお客さんもうっとり

豪華景品続出のBINGO大会♪

閉祭式での表彰授与の様子

ここに掲載しているほかにもたくさんの教室展示や模擬店、声優トークショー、お化け屋敷、フリーマーケット、お子様企画など、掲載しきれないイベントがたくさんあります。今年100%黒字だった模擬店はクラブ活動をしていない一般学生でも友達を集めて参加できます。今年城北祭を満喫できなかった学生諸君、来年はぜひ訪れて自分の目で確かめてください!

### 2013年度大宮キャンパス学園祭 教室展示各賞審査結果

#### 学術研究部門

- 学長賞 城北水辺クラブ
- 工学部長賞 建築文化研究部
- 知的財産学部長賞 知財推進部
- 後援会会長賞 機械工学研究部

#### 芸術系部門

- 学長賞 鉄道研究部
- 学生部長賞 写真研究部
- 文化会会長賞 美術部 藤原武史(U3)
- 後援会会長賞 写真研究部 和田正孝(U1)

※後援会会長賞は後援会役員・委員の採点による

#### 体育会本部主催行事

- 相撲大会重量級優勝 仁木駿佑(学生課職員)
- 相撲大会重量級準優勝 藤野 稜太(C2)
- 相撲大会重量級3位 北脇 拓郎(C3)
- 相撲大会中量級優勝 大野 泰啓(W4)
- 相撲大会中量級準優勝 仁木駿佑(学生課職員)
- 相撲大会中量級3位 松永 諒(P2)
- 相撲大会軽量級優勝 細田 裕輔(C3)
- 相撲大会軽量級準優勝 池子 英興(W4)
- 相撲大会軽量級3位 河本 拓也(D2)

#### 模擬店部門

- 城北祭実行委員長賞 坂谷さん家 (揚げギョーザ)

※来場者からの人気投票による

## 工学実感フェア2013を開催

城北祭期間中の10月26日、27日の2日間、大宮キャンパスでは“未来を拓く。—深海のフロンティアたち”をテーマに、最新の技術や取り組みに触れる講演「テクノ・フォーラム」と、工学部のさまざまな専門分野で研究を行っている教員と学生たちが企画・運営する約50の「体験プログラム」などを実施する工学実感フェア2013を開催しました。体験プログラムでは、学生スタッフの指導のもと、

各参加者は真剣なまなざしでものづくりや実験に取り組んでおり、実際に自分の目や手を動かすことで科学の楽しさを実感していただく機会になりました。また、学部・学科・研究室の枠を越えて活動する「学生プロジェクト」の活動内容や成果を発表する報告会では実際に大会に出場したロボットや人力飛行機、フォーミュラカー、ソーラーカーが展示され、来場の方々の興味を引いていました。



熱心に体験プログラムに取り組む子供たち



# 北山祭 11.3日祝

## KITAYAMA FESTIVAL

枚方  
キャンパス

11月3日に開催した第17回北山祭は、あいにくの天気にも関わらず、5,000人の方々にご来場いただき、大成功という形で終えることができました。

“来場者1人ひとりの笑顔を通じてつることにより人と人の絆を深める”という意味で、「結笑(けっしょう)」をテーマとして実施したイベントの「来場者の写真で『結笑』の文字を描く」では、たくさんの来場者の方の笑顔の写真をいただき、立派な作品を完成させることができました。

来年度の北山祭もさらに盛り上げていきたいと思っておりますので、ぜひご来場ください。

北山祭実行委員会 委員長 荒川峻光 (IM2)



## 充実の各種イベント

北山祭では来場者の方々に存分に楽しんでもらえる企画を多数実施しました。

北山祭名物となった「巨大フリーマーケット」には、約200店舗が出店しにぎわいました。また、ステージイベントでは、創部1年目のストリートダンス部によるダンスの披露や、学外でのイベントでも引張りだこのジャグリングクラブによるパフォーマンス披露のほか、応援団による力強い「演武祭」、人気お笑い芸人による「お笑いライブ」、ウィンドアンサンブルの「演奏会」、ワクワドキドキの「ビンゴ大会」、そして、個性豊かな店舗が立ち並び行列のできた「模擬店」のほか、屋内の文化会クラブによる展示等、来場者や学生の笑顔が枚方キャンパスに満ち溢れ大いに盛り上がりました。



## 北山祭2013写真集



大盛況のフリーマーケット



大反響のお笑いライブ



会場を魅了した  
ウィンドアンサンブル



文化会クラブによる  
展示の様子



応援団による力強い  
「演武祭」



お宝が眠っていたかも…



研究成果に夢中になる  
子どもたち



大人の方も未知の体験



イノベーション大賞を受賞した  
「視覚系画像処理研究室」



皆さまの笑顔で作り上げた  
「けっしょう」の文字作品

## 大盛況だったOh!ITカーニバル

「Oh!IT カーニバル」では、情報科学部の研究室やプロジェクト活動など39のブースが一堂に会し、来場者の皆方々に最新の研究成果や情報技術を体験していただきました。

Web アプリやコンピュータに関するデモンストレーションをはじめ、ネットワーク技術を使ったロボットの遠隔操作や仮想世界の体験など、あらゆる年齢層の方々に楽しんでいただきました。また、今年は高校生までを対象としたスタンプラリーを実施したこともあり、会場は子どもから大人までのたくさんの来場者で終日にぎわいを見せました。

そして、教員や後援会役員、枚方地域産業クラスター研究会の審査を経て、優秀な研究発表を行った研究室は閉祭式で表彰されました。受賞した研究室は右のとおりです。

### 2013年度Oh!ITカーニバル研究発表審査結果

学 長 賞	画像情報処理研究室 (西口准教授)
学 部 長 賞	音声・音楽情報処理研究室 (鈴木准教授)
後 援 会 会 長 賞	計測とシミュレーション物理研究室 (藤井教授)
イノベーション大賞	視覚系画像処理研究室 (シラジ教授)

## 奈良県十津川村ボランティア「道普請」を実施

2013年11月16日・17日の2日間にわたり、本学課外活動団体であるボランティア・Linkが主催となって、奈良県十津川村で「十津川村復興ボランティア」を実施しました。2011年の台風12号で甚大な被害を受けた十津川村には、現在もなお被害状況が当時のまま残っている所があり、学生20人・職員3人が、現地スタッフの指導の下、松柱集落と出谷集落の古道の「道普請(みちぶしん)」を行いました。道普請とは、主にジョレンという道具を使って、山道に溜まった土砂や木の枝を除去し、古来から紡がれてきた歴史ある道の修復作業を行うことです。

夜には、学生が主体となって反省会を開き、今回のボランティア活動をただこなすだけでなく、それぞれの学生が何を考え、何を感じたのかを話し合いました。参加学生は、大宮の学生だけでなく、枚方キャンパスの学生も数名参加し、キャンパスの垣根を超えた学生間での意見交換も行われ、充実した2日間を過ごしました。



現地の人と協力して作業をすすめる学生

## 「つくばチャレンジ2013」に出場しました!

11月17日、茨城県つくば市で開催された「つくばチャレンジ2013」に情報科学部の学生が出場しました。

昨年に引き続き開催された本大会は、海外の大学を含む46チームが参加し、日頃から研究開発しているロボットの技術を披露しました。

「つくばチャレンジ」は自ら考えて動く自律型ロボットが、人々が生活する街の中で安全かつ確実に動くことを目指すもので、つくば市内の人通りの多い公園内の遊歩道などを含む、全長約1.23km以上のコースにおいて、指定された服装をした人物を探索しつつゴールを目指すという課題が設定されました。

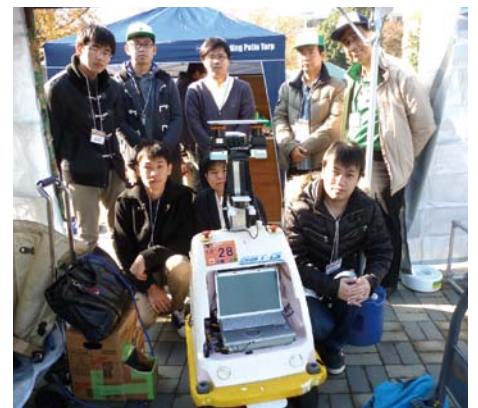
本学は学科横断型の合同チームを結成し、

企業の協力を得て製作した、車輪移動型ロボット「プロキオン」で挑みました。プロキオンは対象物までの距離をレーザー光を使い計測するレーザーレンジファインダーや、GPSを搭載し、あらかじめ作成した地図の中を、障害物や通行人を回避しながら自律走行できます。

今年度は、10月27日の実験走行において約1.2km走行し、ほぼ完走に近い記録を残すことができました。本走行では残念ながら、649mと、実験走行時の記録には及びませんでしたが、前年度の441mから、さらに大きく自律走行距離を伸ばすことができました。

これまでの継続的な参加により、確実に技術力が向上しており、完走が現実的になってきています。

今後は、次年度の完走を目標に、さらなる改善を重ねていきます。



つくばチャレンジ2013に出場したメンバー

## カウンセラーのひとり言 「人生の先輩から学んだこと」

カウンセラー 友尻 奈緒美

先日、ネットで買い物をしました。数百円の物ですが、昔は専門店に行かないと買えない物だったので、歩きまわらずに自宅に届けてもらえるなんて楽になったなと改めて感激しました。私もそう長く生きているわけでもないですが、大学生のみなさんが生まれた20年程前と比較すると、物や情報を得ることは格段にスピーディーで、手がかからなくなりましたし、科学の発達によって多くの不可能だったことが可能になりました。しかし、これだけ便利な世の中になっても、自分の思い通りに手に入れられるものばかりではありません。人の気持ち、名誉、自分の生き方、etc. …。

以前、ある病院で働いていた時に、病気やけがで身体が不自由になった高齢の方とよくお話ししていたのですが、その際によく聞いたのが「思うようにはいかない」という言葉です。今の病気やけがに直面して、また人生を振り返って発せられたその言葉には、「そんなものだ」と現実を受けとめて生きていこうとする真摯な姿勢がにじみ出ていました。私はその言葉を聴いて、時代が進むにつれて“なんでもできる”と錯覚しがちだったなと省み、生きていれば「思うようにはいかない」ことも必ず起こるし、その中で自分なりにやっていくしかない、思い直した次第です。

## 心理学アラカルト 「関係によって性格は変わる」

カウンセラー 中村 由未子

友達からこういう話を聞きました。「付き合っている彼女がわがまま。なんでも自分の主張を通そうとするので仕方なく言うとおりにしている」。そう言えば彼の前の彼女も同じような人だったような。彼はとても優しくサービス精神もある人です。もしかして彼のそういう性格が彼女のわがままな部分を余計に引き出しているのでは?と思いました。

よく考えてみると私たちの性格というのはいつでも同じ、ということはないはず。優しくしてくれる人にはつい甘えてしまう

かもしれませんし、いつも下手に出てくる人にはちょっと上から目線で接してしまうかもしれません。接する相手がどういう人かによってこちらの態度も変わるということがあります。逆に言うと、相手の態度が嫌だなと思ったら、自分の何が相手のそういう態度を引き出しているのだろう?と考えることもできます。先ほどの友達の話で言うと、「彼が優しくすぎるから彼女は甘えてしまっている」と考えることができます。人との関係で困ったら、自分の態度を振り返ってみることも大事です。



## 創部36年で初の快挙!!

2013年8月12日(月)、第52回大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会が大東市総合文化センターで行われ、文化会ウインドアンサンブルが出場しました。

初出場にもかかわらず、堂々たる演奏を披露し、見事『銀賞』を獲得しました。

部長の坂田君(U3)は「創部初の試みで部員たちの士気を維持することに苦労しましたが、4月に新入部員を加え、音に厚みがでてきたことが銀賞という結果につながってくれたと感じます。今後も結果に満足することなく精進していきます。」と語ってくれました。

ウインドアンサンブルは今年度のスローガンに『挑戦』を掲げており、11月24日(日)に旭区民大ホールで行われた第33回定期演奏会では、従来の企画・構成を一から練り直し、3部構成とし、新たに発足したコーラス隊と合同演奏を実施するなど、楽器はもちろん、歌声でも観客の耳を魅了していました。

今後も、更なる高みに向かってがんばってくれることでしょう。



## 空手道部 一部返り咲き!!

10月6日に行われた全関西大学空手道選手権大会において、男子団体組手二部リーグ第三位という成績を収め、本学空手道部は関西学生空手道連盟一部リーグ昇格を果たしました。

昨年度までは、一部リーグで活躍していた本学空手道部ですが、今年度の春に二部降格という結果になってしまいました。同部は、この悔しさをバネに文字通り血のにじむような厳しい練習や宿舎を乗り切り、一部昇格を成し遂げました。

新しく主将になった石川君(D4)は「これで先輩たちに追いついたと思わず、主将として、一部優勝を常に意識したチームづくりをしていきたい」と熱く語ってくれました。

今後の空手道部のさらなる活躍が楽しみです。



## 学長表彰(2013年度 第1回)

学会や課外活動での優秀な成績を収めた者に対して、12月3日に学長表彰が実施されました。

### 工学部長表彰

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等	成績等
<b>学芸賞(団体)</b>		
[代表者] 江端 佐知(A4) 計2名	日本建築学会2013年度支部共通事業 設計競技	近畿支部入選
[代表者] 阪口 裕也(MA2) 計4名	日本建築学会2012年度支部共通事業 設計競技	近畿支部入選
[代表者] 阪口 裕也(MA2) 計2名	日本建築学会2013年度支部共通事業 設計競技	近畿支部入選
[代表者] 湯浅 純(MA2) 計4名	日本建築学会2013年度支部共通事業 設計競技	近畿支部入選
[代表者] 小室 瞳(MA1) 計2名	吹田歴史文化まちづくりセンター開館10周年記念・まちづくり協会10周年記念事業「これからの浜屋敷」コンペ	最優秀賞・優秀賞をダブル受賞
<b>学芸賞(個人)</b>		
学芸賞 中川 玄(MI2)	情報処理学会第75回全国大会	学生奨励賞
学芸賞 服部 健太(MC1)	第47回地盤工学研究発表会	優秀論文発表者賞
学芸賞 本木 克弥(MA1)	2013年日本建築家協会(JIA)近畿支部 学生卒業設計コンクール	優秀賞
学芸賞 本木 克弥(MA1)	日本建築学会近畿支部 近畿地区大学建築系学科卒業設計コンクール	優秀賞
学芸賞 本木 克弥(MA1)	毎日総合デザイナー協会(DAS)学生デザイン賞	入選
学芸賞 小谷 安博(MED2)	ICEMS2012	電気科学技術奨励学生賞
学芸賞 佐々木 悟(MED2)	The2013 international meeting for Future of Electron Devices,kansai (IMFDK2013)	Student Paper Awardの受賞
学芸賞 向井 和哉(MED2)	The2013 international meeting for Future of Electron Devices,kansai (IMFDK2013)	Student Paper Awardの受賞
学芸賞 孫 屹(MED2)	平成24年電気関係学会関西連合大会	電気学会優秀論文発表賞
学芸賞 森口 航平(MED2)	平成24年電気関係学会関西連合大会	連合大会奨励賞
学芸賞 川村 剛史(M4)	第29回宇宙技術および科学に関する国際シンポジウム	ベストポスター賞
学芸賞 副田 正樹(V3)	合同フォーラム「みんなでつくろう明日の人材」	学生リーダー・パネリストとしての発表
学芸賞 後藤 純平(MW1)	2013年度日本建築学会設計競技	近畿支部入選
<b>課外活動賞(団体)</b>		
[代表者] 坂井 奎亮(R4) 計9名	ロボカップジャパンオープン2013@ホームリーグ	優勝
[代表者] 幸 孝明(MI1) 計8名	ロボカップジャパンオープン2013@ホームリーグ	優勝
[代表者] 杉本 良(C4)	第56回全関西大学空手道選手権大会	2部男子団体組手競技第三位1部昇格
[代表者] 佐々木 敬太(C1) 計3名	第8回測量コンテストin高知工科大学	敢闘賞(2位)
[代表者] 廣島 眞太郎(E3) 計26名	FIA ALTERNATIVE ENAGEIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2013	オリンピアクラス準優勝、総合14位
[代表者] 廣島 眞太郎(E3) 計27名	カーボンポテ-開発チーム	FIA ALTERNATIVE ENAGEIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2013で準優勝などに貢献
[代表者] 柴田 和諒(M4) 計2名	RoboCup2013	トリプル&キック部門優勝、テクニカルチャレンジ2位、ベストヒューマンノイド賞獲得
[代表者] 中上 浩佑(M3) 計10名	レスキューロボットコンテスト	ファイナルミッション進出、ベストオペレーション賞、消防庁長官賞
[代表者] 中上 浩佑(M3) 計16名	NHK大学ロボコン2013	シード校として出場
[代表者] 森本 大貴(K3)	平成25年度関西学生新人レガッタ	新人女子ナックル 第2位
[代表者] 松村 悠人(R4) 計2名	第25回知能ロボットコンテスト2013	最優秀技術賞および準優勝
<b>課外活動賞(個人)</b>		
課外活動賞 細田 裕輔(C3)	第54回全日本理工科学生柔道優勝大会	初段の部 第3位
課外活動賞 神田 涼(IC1)	平成25年度枚方市春季総合体育大会	男子3部ダブルス 優勝
課外活動賞 神田 涼(IC1)	平成25年度枚方市春季総合体育大会	男子3部シングルス 優勝
課外活動賞 和田 堯也(IS4)	全日本北道院オープン選手権大会	段外重量級 第2位
課外活動賞 川津 裕太郎(IS3)	奈良県国体選手選考会	国体選手選考
課外活動賞 藤井 孝行(E3)	第2回全関西学生カーナ選手権大会	男子個人の部 第3位
課外活動賞 小谷 安博(MED2)	パワーエレクトロニクス学会	パワーエレクトロニクス学会若手幹事功労賞
課外活動賞 駄田井 隆之(M4)	第54回全日本理工科学生柔道優勝大会	初段の部 第3位
課外活動賞 木村 吉秀(M1)	第30回シマノ鈴鹿ロードレース	オープンII-A2組:スプリント賞 優勝
課外活動賞 荒川 涼(R1)	第81回兵庫陸上競技選手権大会	5000mウォーク 2位
課外活動賞 晋山 勝厚(R1)	第35回北道院型試合選手権大会	一般中級の部 優勝

## 工学部長表彰(2013年度 第1回)

工学部では、学会・課外活動等で優秀な成績を収めた者および社会貢献した者に対して工学部長表彰を行っており、11月28日に以下の学生および団体を表彰しました。

### ▶ 工学部長表彰

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>学芸賞(団体)</b>	
[代表者] 古閑 貴裕 他2名(C4)	第55回実技セミナー「Soli Test Contest 2013(土の粒度試験の部)」にて優秀賞を受賞
<b>学芸賞(個人)</b>	
後藤 純平(MW1)	2013年度日本建築学会設計競技(近畿支部)にて入選
小谷 安博(MED2)	[15th European Conference on Power Electronics and Applications(EPE'13 ECCE Europe)]にて英語によるポスター発表
小谷 安博(MED2)	[The 9th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications(LDIA2013)]にて英語による口頭発表
五十榎健太(MED2)	[15th European Conference on Power Electronics and Applications(EPE'13 ECCE Europe)]にて英語による口頭発表
向井 和哉(MED2)	[2013 JSAP-MRS Joint Symposia]にて英語によるポスター発表
和田 涼太(MED2)	[2013 JSAP-MRS Joint Symposia]にて英語によるポスター発表
熊谷健太郎(MED1)	[Microscopy Conference 2013]にて英語によるポスター発表
細井 創介(MED1)	[Microscopy Conference 2013]にて英語によるポスター発表

被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>学芸賞(個人)</b>	
杉井 文尊(MED1)	[ITC-CSCG 2013]にて英語によるポスター発表
水谷 優子(MK2)	[第8回大環状および超分子化学国際会議]にて英語によるポスター発表
玉乃井英嗣(MK2)	[第24回ヘテロ環化学国際会議]にて英語によるポスター発表
恵上 直樹(MM2)	[第4回機能性材料と構造物に関するアジア会議(ACMFMS2012)]にて英語による口頭発表
三藤 陽平(MM2)	[第29回宇宙技術及び科学に関する国際シンポジウム]にて英語による口頭発表
木咲 秀彌(MM2)	[第29回宇宙技術及び科学に関する国際シンポジウム]にて英語による口頭発表
松本 和真(MK1)	[第29回宇宙技術及び科学に関する国際シンポジウム]にて英語による口頭発表
山下 大輔(MM2)	[日本機械学会論文C編]および[Journal of System Design & Dynamics]に研究論文掲載
河村 智博(MM2)	[日本機械学会論文C編]および[Journal of System Design & Dynamics]に研究論文掲載
<b>課外活動賞(個人)</b>	
河村 裕真(R1)	二足歩行ロボット競技会「ロボファイト14」にて準優勝を受賞

## 知的財産研究科長表彰・学部長表彰(2013年度 第1回)

知的財産研究科・学部では、資格取得や本学主催行事等で特に優れた貢献をした者に対して、標記の表彰を授与するものであり、11月20日に実施しました。

### ▶ 知的財産研究科長表彰・学部長表彰

被表彰者(所属)	表彰内容
池田 百合(MP2)	知的財産管理技能検定2級合格
渡邊 哲弥(MP2)	〃
河崎 有美(MP1)	〃
矢野 裕也(MP1)	リサーチアシスタント(RA)活動において特に優れた貢献をした者および知的財産管理技能検定2級合格
井戸家ゆかり(MP1)	リサーチアシスタント(RA)活動において特に優れた貢献をした者
大江 史佳(MP1)	〃
岡本 由希(MP1)	〃
古 舒珊(MP1)	〃
北村 優樹(P3)	知的財産管理技能検定2級合格

※検定試験合格については、別途掲示し、学生からの申請を待って最終決定とした。  
※表彰順は研究科長表彰・学部長表彰の順とし、さらに教員の推薦のとおりとする。

被表彰者(所属)	表彰内容
橋爪 勇希(P3)	キャンパスサポート制度(オープンキャンパス実施)において特に優れた貢献をした者
渡邊 葉子(P2)	〃
柏木 祐里(P2)	課外活動プロジェクト「知財PR隊」として特に優れた貢献をした者
小西 さくら(P2)	〃
梅本 英美(P2)	〃
脇田 燦志朗(P2)	〃
和田 匡弘(P2)	〃
西川 大介(P2)	〃
松浦 弘奈(P2)	〃

## 食育フェアが開催されました! ～食生活・健康を意識して過ごしていますか?～

食生活を見直し、健康な生活を送ってもらうきっかけにしようと、10月10日(大宮キャンパス)、11日(枚方キャンパス)に「食育フェア」が、食堂を運営する常翔ウェルフェアの主催で開催されました。食育フェアは、保健室や学生食堂のスタッフ、旭区保健福祉センター(大宮キャンパスのみ)、管理栄養士を目指して勉強中の他大学の学生さんなどがこの日のために工夫して、準備してくれました。



内容は、ラーメンやハンバーガーなど6種類の食べ物を並べ替えて、油分と塩分量を比較するクイズ等盛りだくさんの楽しい企画に、お昼休みを利用してたくさんの方が訪れました。つい忘れがちな大切な日々の食事について、楽しみながら見直すいい機会となりました。



### ■テーマ「手軽?おいしい?ジャンクフードの落とし穴」

- ・知ろう!ジャンクフードに含まれる油分と塩分!
- ・測ろう!自分の体脂肪!
- ・学ぼう!こわい生活習慣病!
- ・考えよう!バランスの良い食事!



## 学生による授業評価アンケート

あなたは授業アンケートに回答していますか?

授業アンケートは「学生の皆さんが授業を評価する」唯一の機会です。直接教員には言いづらい要望なども、授業アンケートなら伝えることが可能です。

回答していただいた意見によって、授業の運営が改善されたケースが数多くあります。皆さん方の意見をお待ちしています。

### 2013年度の授業アンケート結果

区分	学生回答率	
前期授業	中間アンケート	62.3%
	期末アンケート	54.4%
後期授業	中間アンケート	48.4%

「化学概論a」の板書について寄せられた実際の意見、教員のコメントを紹介します。

中間アンケート 学生コメント	黒板の文字が小さいです。 板書が下のほうになると見えにくいです。 板書を消すスピードが速いです。
-------------------	--

中間アンケート 教員コメント	板書のスピードは少し落とすことにします。皆さんもノートに書き取るスピードを上げるように頑張ってください。
-------------------	--

期末アンケート 学生コメント	板書がとても見やすかったです。 私達の意見をよく聞いてもらって良いと思う。
-------------------	--

以上のように、授業アンケートを通して授業は改善されます。どうか、回答に協力してください。

## 工大流就職支援

今年度も12月1日に企業の採用広報活動が解禁され、各就職サイトへのエントリー等が始まり、学部3年生と大学院1年生の就職活動が本格的にスタートした。就職課では、業界・企業研究会、就職ガイダンスの支援行事を行うなどエントリー開始に備えサポートしてきた。今後、学内においても2月に合同企業説明会が実施される。卒業生の活躍から、是非工大生を採用したいという意欲の高い企業が多数参加する。毎年多くの学生が各企業のブースを訪問して、この合同企業説明会

## 就職 NEWS Vol.13

から内定を勝ち取っている。企業の採用担当者は会社の説明をするだけでなく、学生のアピール・質問から窺える熱意などから採用したい学生を選別している。まさに真剣勝負の場となっている。この機会を最大限活用するためにも再度、業界・企業研究をするなど万全の体制で臨んでほしい。さらに今後は、就職担当の教員、就職課スタッフが全員に対して個人面接を行い、個々に応じたきめ細かな『顔の見える支援』を充実させていく。工大流就職支援実施中。